

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社  
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 村野 晃一  
 (氏名) 石井 俊太郎

TEL 03-6401-2111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	33,154	△23.3	△2,826	—	△3,573	—	△3,478	—
21年3月期第1四半期	43,229	—	△728	—	△303	—	△95	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△30.25	—
21年3月期第1四半期	△0.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	225,053	29,641	11.4	223.40
21年3月期	226,716	32,486	12.6	247.66

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 25,688百万円 21年3月期 28,477百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	80,000	△11.8	△500	—	△1,500	—	△2,000	—	△17.39
通期	280,000	60.9	6,000	—	3,000	—	1,000	—	6.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	116,424,000株	21年3月期	116,424,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,435,326株	21年3月期	1,435,822株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	114,988,121株	21年3月期第1四半期	116,058,465株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、通期の連結業績予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（2009年4月1日～6月30日）は、前年第3四半期以降の金融危機および実体経済の悪化から、世界的に景気は後退しました。わが国においても企業収益は大幅に減少し、それに伴う雇用・所得環境の悪化が、個人消費に深刻な影響を及ぼしました。

当社の当第1四半期の連結売上高は、前年同期と比べ100億円減少し331億円（前年同期比23.3%減）となりました。国内売上高は196億円（同18.4%減）、海外売上高は134億円（同29.5%減）であります。利益面においても、原価低減、経費削減を進めましたが、大幅な減収に伴い営業損失は28億円（前年同期は7億円の営業損失）となりました。また持分法適用会社の収益悪化により持分法投資損失4億円を営業外損失に計上（前年同期は持分法投資利益3億円）したことなどから経常損失は35億円（前年同期は3億円の経常損失）となりました。特別損益の計上はなく、税金等調整後の四半期純損失は34億円（前年同期は四半期純損失95百万円）となりました。

事業の種類別セグメント概況は、以下のとおりです。

### 【事業セグメント別の概況】

#### ① ウオッチ事業

ウオッチ事業の売上高は、国内外における景気悪化に加えて、今期より国内時計等小売会社（株）クロノスを、ウオッチ事業からその他の事業セグメントに移管したことなどから前年より94億円減少し、135億円（前年同期比41.1%減）となりました。国内は、高価格帯商品の売上が大きく減少し、全体としても売上は前年を下回る結果となりました。一方、厳しい状況の中、高価格帯のグランドセイコーの新製品として投入した高振動（10振動）メカニカルウオッチや、低価格帯のワイアードの女性向新製品は好調に推移しました。海外では、米国および欧州を中心に減収となりました。利益面では、経費の削減を進めておりますが、売上の大幅な減少から営業損失は5億円（前年同期は1億円の営業利益）となりました。

#### ② プレジジョン事業

プレジジョン事業の売上高は60億円（前年同期比16.1%減）となりました。電子デバイス事業ではコンパクトカメラ用シャッタの販売減少、またシステム関連事業では、製造業向けアプリケーションソフトの販売減少などから、いずれも売上は前年を下回りました。また半導体事業は、主力の水晶発振器用IC市場が、前年第4四半期に底を打ち回復基調に入りましたが、前年同期の水準には至っておりません。これらの結果、営業損失は6億円（前年同期は営業損失3億円）となりました。

#### ③ 眼鏡事業

眼鏡事業の売上高は62億円（前年同期比12.2%減）となりました。国内は、量販価格帯レンズの販売競争激化の影響を受け、売上は減少しました。海外は、米国では大手取引先の販売不振から、また欧州では為替換算の影響からそれぞれ前年売上を下回りました。この結果、利益面では営業損失1億円（前年同期は83百万円の営業利益）となりました。

④ クロック事業

クロック事業は売上高 20 億円（前年同期比 31.7%減）となりました。普及価格帯商品は販売を伸ばしましたが、景気の後退により高級品の売上は大幅に減少しました。利益面に関しては、引き続き製造原価の低減を進めておりますが、営業損失は前年同期とほぼ同額の 1 億円となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業の売上高は、69 億円（前年同期比 56.7%増）となりました。今期から国内時計等小売会社(株)クロノスを、ウオッチ事業からその他の事業セグメントに移管したことなどにより売上は増加しました。利益面では、前年同期よりも 3 億円改善し営業損失 4 億円（前年同期は 7 億円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【資産・負債・純資産の状況】

当第 1 四半期末の総資産は 2,250 億円、前年度末に比べて 16 億円の減少となりました。主な内訳は、現預金、売上債権の減少およびたな卸資産の増加など流動資産が 15 億円減少したことによるものです。負債につきましては、未払金の減少、借入金の増加などから前年度末に比べ 11 億円増加し、1,954 億円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金の増加、その他利益剰余金の減少などから前年度末に比べて 28 億円減少し 296 億円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費 14 億円、売上債権の減少 22 億円などからキャッシュ・フローが増加した一方、税金等調整前四半期純損失 35 億円、未払金の減少 14 億円などによるキャッシュ・フローの減少により前年同期よりも 28 億円減少し 17 億円のマイナスとなりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 3 億円のマイナスとなりました。前年同期は、有形固定資産の取得等により 21 億円のマイナスでした。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の増加 17 億円、配当金の支払 2 億円などから 14 億円となりました。前年同期は借入金の増加等により 9 億円でした。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は 162 億円（前年同期は 152 億円）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

内外の経済環境は引き続き厳しい状況にありますが、連結業績の見通しにつきましては、前回（平成 21 年 5 月 8 日）発表数値に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、主として、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更に伴う当第1四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,847	17,484
受取手形及び売掛金	23,870	26,031
商品及び製品	31,462	31,058
仕掛品	2,051	1,962
原材料及び貯蔵品	1,613	1,500
未収入金	3,079	3,109
繰延税金資産	1,497	1,396
その他	4,018	3,394
貸倒引当金	△1,580	△1,508
流動資産合計	82,860	84,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,531	40,335
機械装置及び運搬具	16,795	16,909
工具、器具及び備品	14,040	13,870
減価償却累計額	△39,984	△38,882
土地	52,798	52,576
建設仮勘定	208	173
その他	567	560
有形固定資産合計	84,956	85,543
無形固定資産		
のれん	604	656
その他	9,246	9,337
無形固定資産合計	9,851	9,994
投資その他の資産		
投資有価証券	40,827	40,279
繰延税金資産	1,803	1,696
その他	5,103	5,112
貸倒引当金	△349	△341
投資その他の資産合計	47,385	46,747
固定資産合計	142,193	142,285
資産合計	225,053	226,716

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成21年6月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,605	15,642
短期借入金	40,571	41,452
1年内返済予定の長期借入金	43,405	43,007
未払金	3,682	5,104
未払法人税等	286	303
繰延税金負債	47	67
賞与引当金	645	1,232
その他の引当金	653	691
その他	5,961	4,985
流動負債合計	110,856	112,487
固定負債		
長期借入金	59,870	57,573
繰延税金負債	2,622	1,822
再評価に係る繰延税金負債	5,490	5,490
退職給付引当金	10,215	10,323
その他の引当金	1,057	1,071
負ののれん	1,609	1,704
その他	3,690	3,757
固定負債合計	84,554	81,742
負債合計	195,411	194,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	447	447
利益剰余金	17,495	21,283
自己株式	△593	△593
株主資本合計	27,349	31,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,766	663
繰延ヘッジ損益	△82	31
土地再評価差額金	3,095	3,095
為替換算調整勘定	△6,440	△6,449
評価・換算差額等合計	△1,661	△2,659
少数株主持分	3,953	4,008
純資産合計	29,641	32,486
負債純資産合計	225,053	226,716

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	43,229	33,154
売上原価	26,620	21,543
売上総利益	16,609	11,611
販売費及び一般管理費	17,337	14,437
営業損失(△)	△728	△2,826
営業外収益		
受取利息	75	22
受取配当金	398	173
持分法による投資利益	386	—
その他	490	390
営業外収益合計	1,351	586
営業外費用		
支払利息	613	716
持分法による投資損失	—	467
その他	313	148
営業外費用合計	926	1,332
経常損失(△)	△303	△3,573
特別利益		
投資有価証券売却益	600	—
特別利益合計	600	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	296	△3,573
法人税、住民税及び事業税	356	168
法人税等調整額	21	△249
法人税等合計	378	△80
少数株主利益	13	△15
四半期純損失(△)	△95	△3,478

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	296	△3,573
減価償却費	1,268	1,440
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	△84
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35	75
受取利息及び受取配当金	△474	△195
持分法適用会社からの配当金の受取額	6	99
支払利息	613	716
為替差損益(△は益)	4	△122
持分法による投資損益(△は益)	△386	467
投資有価証券売却損益(△は益)	△600	—
固定資産除却損	55	12
売上債権の増減額(△は増加)	4,447	2,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,576	△503
仕入債務の増減額(△は減少)	2,116	△57
未払金の増減額(△は減少)	△2,046	△1,417
その他	△225	△218
小計	1,557	△1,105
利息及び配当金の受取額	473	195
利息の支払額	△524	△686
法人税等の支払額	△396	△193
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109	△1,789
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,246	△363
有形固定資産の売却による収入	131	3
投資有価証券の取得による支出	△3,150	0
投資有価証券の売却による収入	3,600	0
貸付けによる支出	△278	△108
貸付金の回収による収入	28	149
その他	△223	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,139	△378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	39,868	115,504
短期借入金の返済による支出	△39,925	△116,402
長期借入れによる収入	5,000	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,782	△3,305
配当金の支払額	△1,161	△290
その他	△70	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	928	1,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	244	178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143	△540
現金及び現金同等物の期首残高	15,122	16,841
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△84
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,266	16,216

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	ウオッチ 事業	プレジジョン 事業	眼鏡 事業	クロック 事業	その他の 事業	計	消去 又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	22,921	7,017	7,047	2,453	3,790	43,229	-	43,229
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	84	147	27	568	629	1,458	(1,458)	-
計	23,006	7,165	7,075	3,021	4,419	44,687	(1,458)	43,229
営業利益又は営業損失(△)	183	△ 397	83	△ 184	△ 775	△ 1,090	362	△ 728

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	ウオッチ 事業	プレジジョン 事業	眼鏡 事業	クロック 事業	その他の 事業	計	消去 又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	13,129	5,644	6,188	1,729	6,463	33,154	-	33,154
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	416	368	22	334	463	1,605	(1,605)	-
計	13,546	6,012	6,210	2,064	6,926	34,760	(1,605)	33,154
営業損失(△)	△ 576	△ 624	△ 191	△ 186	△ 442	△ 2,022	(804)	△ 2,826

(注) 1. 事業区分の方法及び変更

(1)事業区分につきましては、親会社における連結事業管理体制に基づき行っております。

(2)連結事業管理体制の変更に伴い、ウオッチ事業に含めていた(株)クロノスをその他の事業に、その他の事業に含めていたセイコーサービスセンター(株)をウオッチ事業に含めて開示しております。

この結果、当第1四半期累計期間のこの変更による影響額は、ウオッチ事業の外部顧客に対する売上高が2,505百万円減少、セグメント間の内部売上高又は振替高が330百万円増加し、その他の事業の外部顧客に対する売上高が2,505百万円増加、セグメント間の内部売上高又は振替高が349百万円減少しております。

また、ウオッチ事業の営業損失が136百万円減少し、その他の事業の営業損失が18百万円増加しております。

2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要な商品
ウオッチ事業	ウオッチ
プレジジョン事業	情報ネットワークシステム、カメラ用シャッター、半導体
眼鏡事業	眼鏡レンズ・フレーム
クロック事業	クロック
その他の事業	ゴルフクラブ、音響機器、高級服飾・雑貨品、不動産賃貸、設備時計、スポーツ計時機器

## 2. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	アメリカ	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	29,604	3,954	5,747	3,923	43,229	-	43,229
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,586	0	16	6,292	10,896	(10,896)	-
計	34,190	3,955	5,763	10,216	54,126	(10,896)	43,229
営業利益又は営業損失(△)	△ 135	△ 461	88	289	△ 218	(510)	△ 728

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	アメリカ	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	22,459	3,077	4,042	3,575	33,154	-	33,154
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,048	2	0	3,536	6,588	(6,588)	-
計	25,508	3,079	4,042	7,112	39,743	(6,588)	33,154
営業利益又は営業損失(△)	△ 2,041	△ 166	△ 84	53	△ 2,238	(588)	△ 2,826

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アメリカ ・ ・ ・ ・ ・ 北米、中米、南米地域

(2)欧州 ・ ・ ・ ・ ・ ヨーロッパ、アフリカ地域

(3)アジア ・ ・ ・ ・ ・ アジア、オセアニア、中近東地域

## 3. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高	4,242	6,603	8,288	19,134
II 連結売上高				43,229
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	15.3	19.2	44.3

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高	3,294	4,332	5,864	13,491
II 連結売上高				33,154
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.9	13.1	17.7	40.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)アメリカ ・ ・ ・ ・ ・ 北米、中米、南米地域

(2)欧州 ・ ・ ・ ・ ・ ヨーロッパ、アフリカ地域

(3)アジア ・ ・ ・ ・ ・ アジア、オセアニア、中近東地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の外部顧客に対する売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。